

ラグビーのケガ予防と 対象法

はぴねす鍼灸接骨院



筑後市大字山ノ井362-3

0942-27-7550

ラグビーに多いケガ

- ・頸、肩のケガ

タックルの衝撃を受ける事で、痛みを発症する。

- ・腰痛

走る、捻じる動作の繰り返しや、タックルの衝撃等で痛みを発症する

- ・大腿部の肉離れ

太ももにある筋肉を急激に伸張させる事で、筋肉の繊維を傷つける事で発症する。

- ・ アキレス腱炎

走ったり、スクラムの際に地面を強く踏ん張る事で負担をかけ、痛みを発症する。

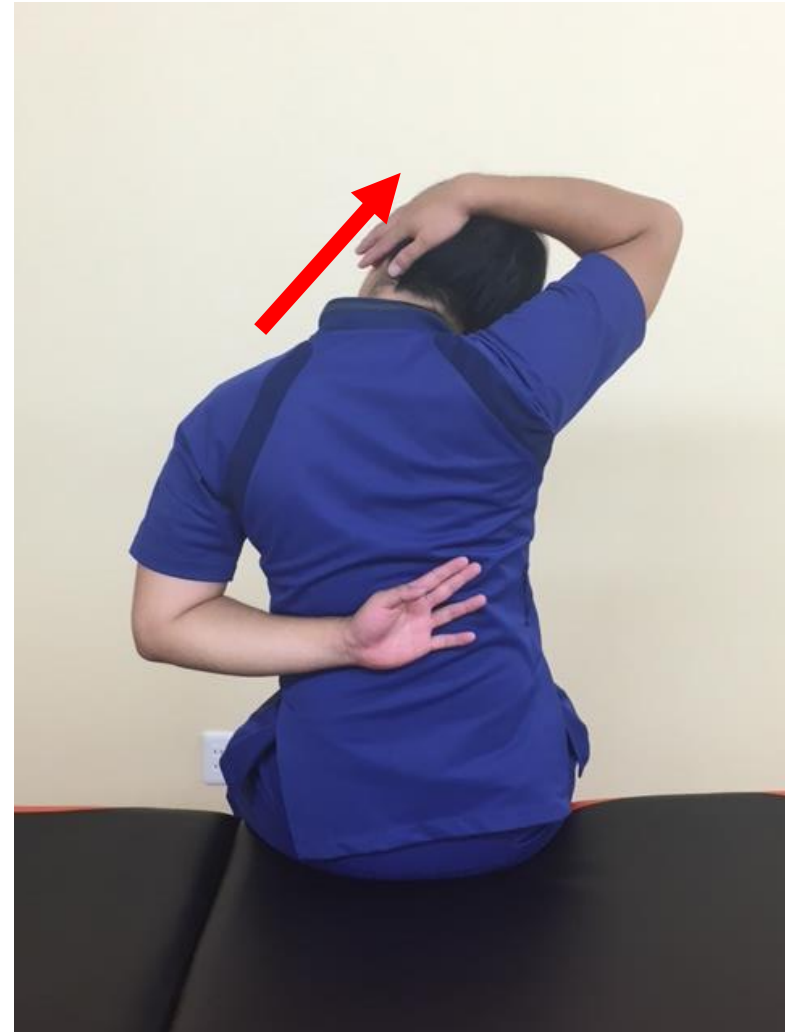
- ・ 打撲、捻挫

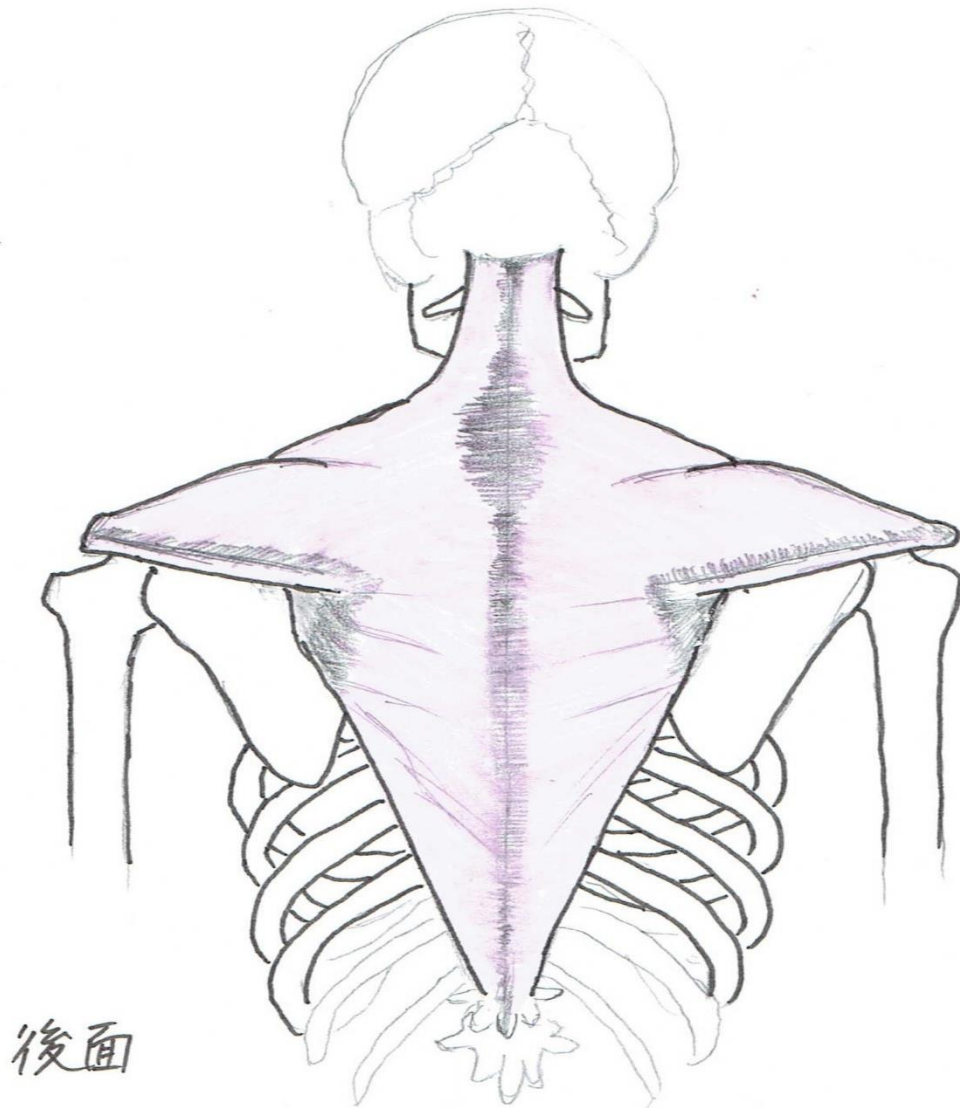
ラグビーはコンタクトが多いので、打撲や捻挫等が頻繁に発生するスポーツです。

ページの最後の方に「RICES」処置を紹介していますので参考にして対処して下さい！

僧帽筋・棘上筋ストレッチ

- ①伸ばしたい方の手を、写真の様に組みます。
- ②なるべく両方の肩の高さが同じ高さになるようにします。
- ③そのまま頭を押しさえストレッチしていきます。





「ストレッチする筋肉」

僧帽筋

(ソウボウキン)

筋肉の作用

- ・肩甲骨を上へ上げる
- ・肩甲骨を回旋させる

腰のストレッチ（腰方形筋）

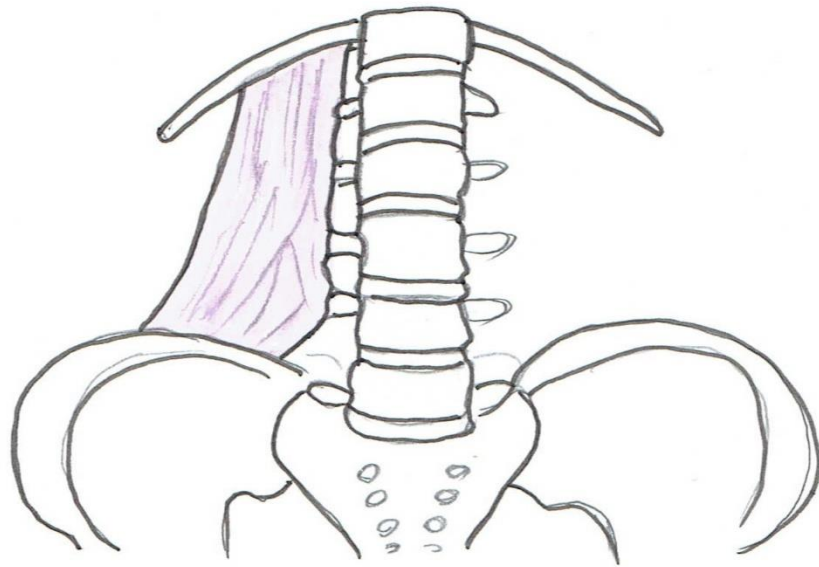
①膝を90度に立て、そのまま横へ倒します。

②首を連動させて脚とは逆に倒します。

③これを逆側も行い、交互に20～30回を目安に行います。

※肩が浮かないように注意しましょう。





右前面

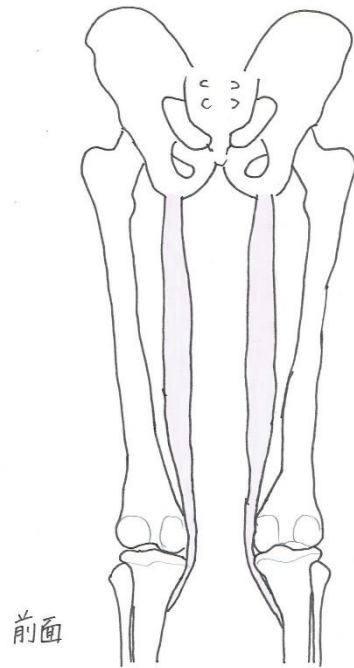
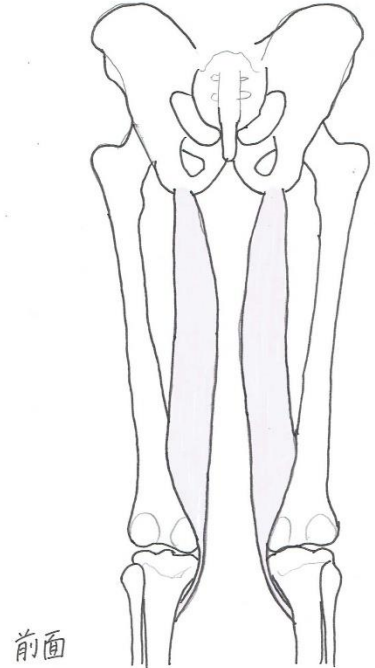
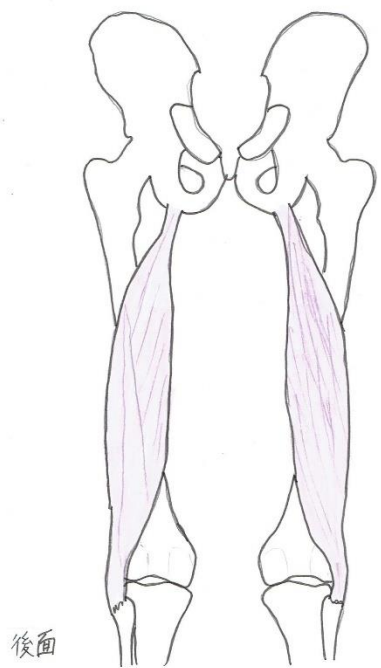
「ストレッチする筋肉」
腰方形筋
(ヨウホウケイキン)

「筋肉の作用」
腰椎の側屈、伸展

ハムストリングスのストレッチ

- ① 伸ばす方と逆の脚は、写真の様に曲げます。
- ② 伸ばす方の脚は、膝が曲がらない様に注意します。
- ③ 膝を伸ばした状態で、ストレッチをする方の脚へ胸が近づく様に曲げて行きます。





ストレッチする筋肉
「ハムストリングス」
(太ももの裏)

筋の作用(働き)
膝関節を曲げる動作

太もも前面のストレッチ

- ① 横になり、足部を持ち写真の様に足を後ろへ曲げていきます。
- ② より伸ばしたい場合は、股関節を後ろへ曲げます。
- ③ 太ももの前を意識して行いましょう。



「ストレッチする筋肉」

大腿直筋

(ダイタイチヨツキン)

・筋の作用

膝を伸ばす筋肉

走る時等に膝や股関節を

曲げる時に使う筋肉



右前面

アキレス腱のストレッチ（下腿三頭筋）

①写真のような体勢をとり、伸ばしたい方の足を地面につけます。

②上体を前方へ倒して行き、伸ばして行きます。

※前方へ倒す際、伸ばす方のかかところが浮かない様に注意します。

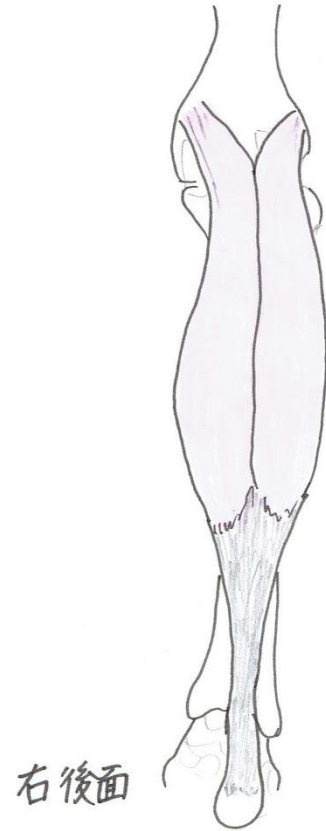
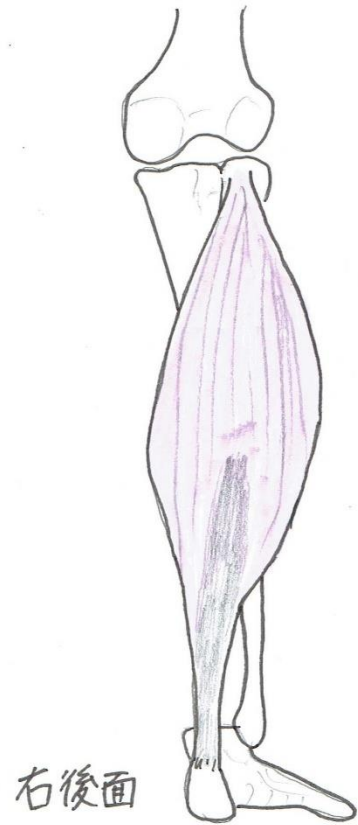


アキレス腱のストレッチ法

- ①足先の3分の1だけを段差に乗せます。
- ②その状態でかかとの方へ体重をかけてストレッチをしていきます。

15秒程度伸ばしていきます。
これを2～3セット行います。





「ストレッチする筋肉」

下腿三頭筋

(カタイサントウキン)

筋の作用

足首の底屈

走る際に地面をける動作

今回はケガの予防法を紹介しました。

これらのケガは慢性的で痛みの続くケガです。

「ウォーミングアップ」や「ストレッチ」などで未然に防ぐ事が出来ます。

次から急性的なケガに対しての応急処置を紹介します。

これらのケガには「**R I C E S 処置**」を用いて応急処置します。

RICES処置

- Rest = 安静
- Ice = アイシング
- Compression = 圧迫
- Elevation = 挙上
- Support = 固定、支持

Rest＝安静

「目的」

内出血や腫れ・痛みの抑制。
損傷部拡大の防止

内出血や腫れがひどくなると、それを取り除く為に多くの時間が掛かってしまいます。また、ケガの再発の可能性を高めます。

出来るだけ、負傷部位に負担をかけないように、安静に保ちましょう！

Ice＝アイシング

「目的」

内出血や腫れ、痛みの抑制。

炎症の抑制。

アイシングは、ケガをした直後に行う事がポイントです。

時間が経つと炎症がひどくなるからです。

血管が収縮して内出血、腫れを抑える事によって炎症を抑制します。

※冷やす過ぎには注意します。10分以上は冷やさないようにしましょう。

凍傷の危険性があるからです。

次のページで紙コップを使ったアイシングを紹介します。

紙コップを用いたアイシング

- ①あらかじめ紙コップに水を入れ、冷凍庫に保存しておきます。
- ②使用する際は、一度表面に水を入れ霜をとります。
- ③患部に直接あて、なでる様にマッサージしていきます。



ピリピリしてきたらヤメ時です。
凍傷の危険性が出るので冷やし過ぎ
には注意しましょう。

Compression = 圧迫

「目的」

圧迫する事で内出血や腫れの抑制。

包帯やテーピング等で圧迫します。

※圧迫しすぎるのも良くありません。

指先の感覚があるか、痺れが出てないか
指先の色は変色してないか確認して下さい。



Elevation = 挙上

「目的」

内出血や腫れの抑制。同時に痛みの緩和をしてくれます。

- 患部を心臓よりも高い位置へ挙上させます。
- 手頃な高さの物を探して行いましょう



Support＝固定・支持

「目的」

痛み・腫れ・炎症の抑制

靭帯や筋肉等の早期回復

患部を固定すること、安定に保つ事で、靭帯・筋肉等の修復がとても効果的に行われ、早期回復に繋がります。

今回は、「RICES処置」について紹介しました。
「RICES処置」は打撲、突き指にも活用出来ます。

圧迫、固定等はやり方が分からない場合もあると思いますが、
「安静」「アイシング」「挙上」は出来る方も多いと思います。
必要な場合は、ぜひ行って下さい！

「RICES処置」はあくまでも応急処置ですので、痛みが強い場合は治療が必要になります。
分からない事があれば、お気軽に御連絡下さい。

お電話でのご相談も受け付けております！



■診療時間 午前 9:00~12:30 午後 15:00~20:00(月・火・木・金)
15:00~17:00(水・土・祝日)

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
午後 15:00~20:00	○	○		○	○	
午後 15:00~17:00			○			○

■日曜休診
■祝日は午後 17:00 まで診療いたします



〒833-0031

筑後市大字山ノ井362-3
(筑後警察署前)

TEL・FAX

0942-27-7550

